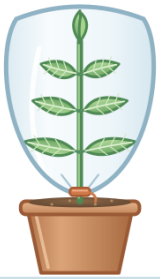
葉から出ていく水（ふくろの実験）

根から吸い上げた水は、体のどこから出ていくのだろう。ふくろで確かめよう

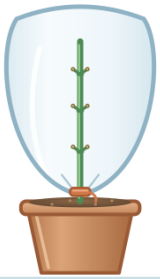
はじめ

同じくらいの大きさの植物
ふくろの内側はかわいている

ア　葉をつけたまま

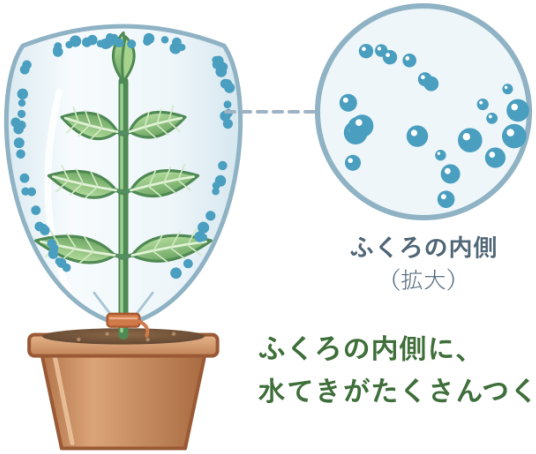


イ　葉をとったもの



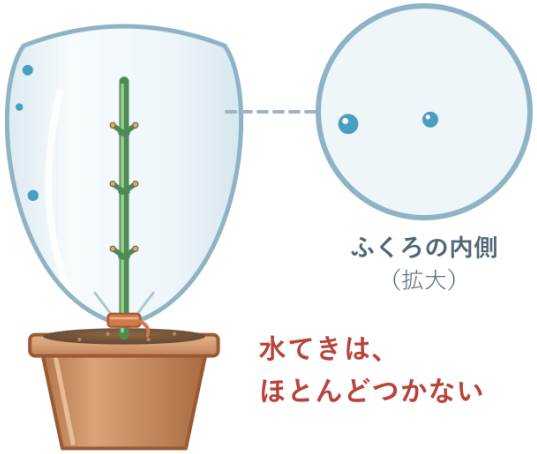
しばらくたつと（例：15〜20分後）

ア



ふくろの内側に、
水てきがたくさんつく

イ



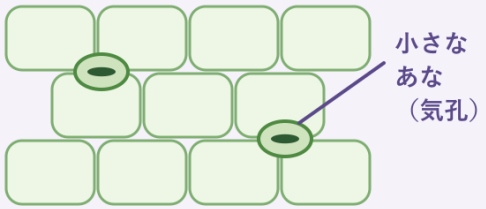
水てきは、
ほとんどつかない

比べて分かること

水てきがたくさんついたのは、
葉のあるアだけ。

→ **根から吸い上げた水は、主に葉から水蒸気になって出ていく。これを蒸散という。**

発展　**葉の表面をけんび鏡で見ると**



ここから水が水蒸気になって出ていく。
（くわしくは中学校で学ぶ）

実験のポイント

晴れた日（気温が高い日）に行う。
ふくろの口は茎のもとでとじる（土から出る水が入らないように）。

※ 模式図。時間と水てきの量は例。用語は使う教科書に合わせる。